

パロキセチン

錠5mg・錠10mg・錠20mg

「VTRS」をお飲みになる患者さんと
ご家族の方へ

監修：医療法人財団厚生協会 東京足立病院 院長
日本大学 客員教授／東邦大学 客員教授
内山 真 先生

こころの病気について

うつ病

嫌なことや悲しいことがあって一時的に気分が落ち込むことは誰にでもあります。うつ病では気が晴れずに憂うつな気分が長く続いて、日常生活に支障をきたします。うつ病では「こころ」だけでなく、「からだ」の症状も出てきます。

こころの症状

- 気が重い
- なにもやる気がしない
- 好きなことでも楽しめない

からだの症状

- 眠れない
- 食事がすすまない
- だるい・疲れやすい

うつ病の人は、時に死にたいほどつらいと感じることがあり、これはうつ病の特徴のひとつです。

さらに、抗うつ薬を飲んでいて、特に飲み始めや飲む量を変更したときに、不安感や死にたいという気持ちを強めてしまうこともあります。また、ごくまれに攻撃的な傾向が強くなることもあります。このような変化があったと感じた場合には、ご家族や医師に必ず伝えてください。

..... ご家族の方へのお願い

ご家族の方は、普段から患者さんの状態について注意深く見守っていることと思います。「いなくなってしまうたい」と言い出したり、身の回りのものを捨てたり、不安定な行動をするなどの気になる変化がみられたときは、すぐに医師に連絡してください。

パニック障害

突然なんの理由もなく、動悸や息切れ、めまい、吐き気などとともに強い不安に襲われるという発作により、日常生活に支障をきたす状態をパニック障害といいます。

この発作は「死んでしまうのではないか」と思うほど強いもので、原因やきっかけなしに繰り返し起こります。そのため、「また発作が起きたらどうしよう」と心配になり、「発作が起きやすい場所や状況を避けよう」と考えるようになります。そして発作への不安や恐怖から、ひとりで外出できなくなるなど、毎日の生活が大きく制限されてしまうため治療が必要です。

強迫性障害

意味がないとわかっているのに、同じ行動を繰り返してしまい、生活に支障をきたす状態を強迫性障害といいます。この病気は気になってしかたがないことが何度も頭に浮かび、それをやめようと思うと苦しくなるため治療が必要です。

強迫性障害の症状(例)

気になってしまうこと
(無意味だとわかっていること)

繰り返してしまうこと
(やめられないこと)

手が汚れていないか

▶ 手を洗う

鍵をかけ忘れていないか

▶ 戸締りの確認

話を聞き逃していないか

▶ 同じことを聞き返す

お薬とじょうずにつきあうために

お薬を飲み始める前に

- 18歳未満の大うつ病性障害*のある人がこのお薬を飲んだ場合、効果があらわれないことや、死んでしまいたいという気持ちを強めることがあります。18歳未満の大うつ病性障害のある人は、医師と十分に相談してください。

*大うつ病性障害とは…アメリカの診断基準ではうつ病をmajor depressive disorderとしているため、これを日本語に訳して現在は大うつ病性障害と呼ばれています。抑うつ状態と躁状態の両方が起こる「双極性うつ病」は含まれません。

お薬を飲み始めのころ

お薬の効果がきちんとあらわれるためには、医師の指示をしっかりと守り、決められた量を毎日続けて飲むことが大切です。



- **お薬を飲み始めたころは、吐き気、食欲不振、下痢、便秘などがあらわれることがあります。**
ほとんどの場合は、しばらく飲み続けていると1～2週間で症状は自然におさまります。
症状がおさまらない場合は、必ず医師にご相談ください。
- このお薬は人によって、**眠気やめまい**などがあらわれることがあります。
自動車の運転や機械を操作するときには、十分注意してください。これらの症状は、飲み始めのころに多くみられます。



お薬を飲んでいる間

- お薬の効果があらわれるまでには、2～4週間かかるといわれています。
あせらずにじっくりと治療することが大切です。
- 自分の判断でお薬の量を減らしたり、飲むのをやめたりしないでください。
急に飲むのをやめると、心身にさまざまな症状があらわれることがあります。

お薬を急にやめたとときにあらわれる症状

手足のビリビリ感 吐き気 汗をかく
めまい イライラする など

- お薬の効果に影響しますので、アルコールは控えてください。
- もし飲み忘れた場合は、気がついたときに、できるだけ早く1回分を飲んでください。
ただし、次に飲む時間が近い場合は、1回とばして次の時間に1回分を飲んでください。
2回分をまとめて飲むことのないように注意してください。

気になる点や不安に思うことなどがありましたら、遠慮せずに医師または薬剤師にご相談ください

症状が良くなったら

お薬はあなたの症状にあわせてゆっくりと減らしていきます。

- ◆患者さん一人ひとりの状態にあわせて、お薬の量を減らすペースを調整します。
- ◆医師と相談しながら、最後まであせらずにじっくりと続けていきましょう。

その他の注意点

- ほかの医療機関で処方されたお薬、一般の薬局で購入して飲んでいるお薬や健康食品*などがありましたら、必ず医師にお伝えください。

*健康食品やサプリメントなどの一部には、一緒に摂取するとお薬の効果に影響を与えるものがあります。



- お薬を飲んでいつもとちがう症状があらわれた場合には、すぐに医師または薬剤師にご相談ください。

お薬の名前・剤形など

販 売 名	パロキセチン錠 5mg 「VTRS」	パロキセチン錠 10mg 「VTRS」	パロキセチン錠 20mg 「VTRS」
一 般 名	パロキセチン塩酸塩水和物		
有 効 成 分 (1 錠 中)	日局 パロキセチン 塩酸塩水和物 5.69mg (パロキセチン として5mg)	日局 パロキセチン 塩酸塩水和物 11.38mg (パロキセチン として10mg)	日局 パロキセチン 塩酸塩水和物 22.76mg (パロキセチン として20mg)
識別コード	PX 5 VLE	PX 10 VLE	PX 20 VLE
シート仕様	10錠シート		
剤 形	白色の割線入り フィルムコーティ ング錠	白色のフィルムコーティング錠	